創薬力向上のための官民協議会　今後の進め方（案）

資料２

進め方・議題概要

- 創薬エコシステム育成施策の方針・課題・改善策等についての具体的な内容を議論するため、本協議会の下で、今後ワーキンググループを開催する。
- 議題の柱は「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」の「中間とりまとめ」に沿って、次の３点とする。**【①我が国の創薬力の強化／②国民に最新の医薬品を迅速に届ける／③投資とイノベーションの循環が持続する社会システムの構築】**

スケジュール

2025年６月
官民協議会（本会）

2025年夏頃
官民協議会ワーキンググループ（WG）の議論開始

複数回実施
③を中心に議論

2025年秋頃
議論の整理を中医協等関係審議会に報告

複数回実施
①・②を中心に議論

議論の整理を報告

2026年５月頃
官民協議会（本会）

…
以降も同様のプロセスを継続

構成員

- 業界団体：日本製薬工業協会、米国研究製薬工業協会（PhRMA）、欧州製薬団体連合会（EFPIA）
- 有識者：伊藤由希子（慶應義塾大学大学院商学研究科教授）、菅原琢磨（法政大学経済学部教授）、成川衛（北里大学薬学部教授）、牧兼充（早稲田大学ビジネススクール准教授）
- 関係省庁：内閣府健康・医療戦略推進事務局参事官、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長、経済産業省商務・サービスグループ生物化学産業課長、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長
- オブザーバー：財務省主計局主計官、厚生労働省保険局総務課長